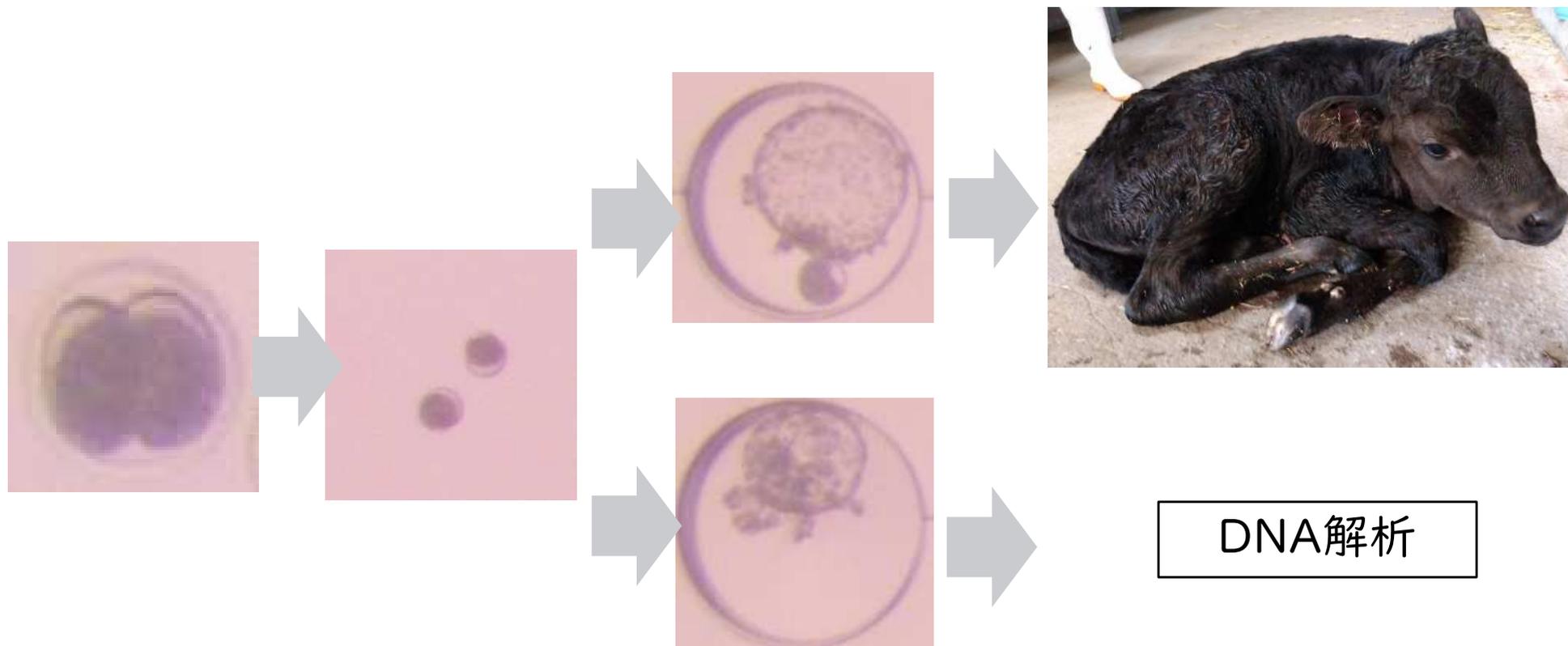


牛の分割胚を用いたゲノム育種価評価法の検討および実証事例

2細胞期の牛胚を分割後それぞれ培養したペア胚の一方をDNA材料に、もう一方を胚移植に用いることで、胚段階で牛のゲノム育種価評価を行うことに成功しました。



※家畜改良センターとの共同研究

※ゲノム育種価は和牛ゲノミック評価コンソーシアムの全国訓練群を用いて算出

※DNA解析はJRA事業の補助を受けて実施